

とうぶ いせさき そうか こしがや
東武鉄道伊勢崎線(草加・越谷地区)連続立体交差事業

受賞機関 埼玉県越谷土木事務所

はじめに

東京都に隣接する草加市及び越谷市は、本路線と都心に直結する営団地下鉄日比谷線との相互乗入れによって、人口がそれぞれ20万人、30万人を超える典型的な首都近郊都市として急速に発展してきた。

しかし、急激な都市化により、両市を南北に走る鉄道は、踏切での交通渋滞や事故、市民生活の分断、鉄道輸送力の限界等の諸問題を抱えるようになった。

そこで、埼玉県では、これらの問題を抜本的に解決するため、都市計画街路事業として既設線の高架化を行い、併せて、東武鉄道が輸送力増強を図るため高架複々線化する線増連続立体交差事業を行った。

事業の概要

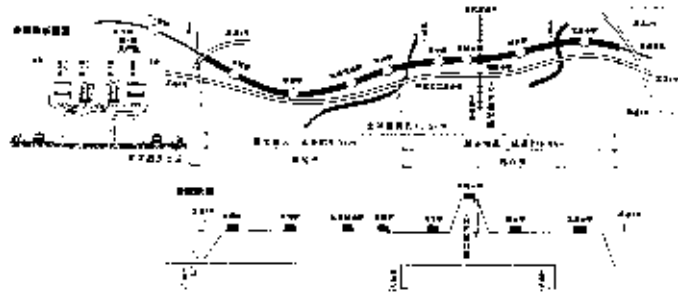
期 間：昭和55年6月～平成13年3月
 延 長：約12.5km、幅員：18m
 総事業費：約1,940億円
 駅 数：8駅
 交差道路数：51本(うち旧踏切26本、新設等25本)
 側 道：34路線、延長12.1km、幅員6m
 施工方式：1線仮線



松原団地～新田駅間：県道金明町鳩ヶ谷線事業前



松原団地～新田駅間：県道金明町鳩ヶ谷線事業後



東武鉄道伊勢崎線連続立体交差事業

事業の特徴

本事業の特徴の一つとして事業効果が明確に現れていることが挙げられる。よって、ここでは事業効果についていくつか紹介する。

(1) 踏切除却による交通渋滞の解消

- ・ 渋滞長の変化
250m 0m
- ・ 走行速度の変化
7.1km/h 28.7km/h (304%増加)
- ・ 交通量(12時間当り)の変化
4,399台 5,827台(32%増加)

(2) 鉄道輸送力の増強

- ・ 運行本数(1時間当り)の変化
越谷及び草加駅：28本 35本(25%増加)
- ・ 所要時間(越谷 北千住駅間)の変化
普通列車：32分 29分(9%短縮)
準急列車：24分 19分(21%短縮)

(3) 駅周辺における関連事業の誘導

本事業により、駅周辺の市街地再開発事業や土地区画整理事業などの関連事業が誘導され、駅前広場や都市計画道路などが一体的に整備された。

その結果、沿線におけるまちづくり全体の発展に寄与した。

受賞賛助会員 (株)大林組東京本社、(株)奥村組東京支社、鹿島建設(株)関東支店、(株)熊谷組北関東支店、(株)鴻池組東京本店、佐藤工業(株)関東支店、清水建設(株)、住友建設(株)東京支店、(株)銭高組東京支社、大成建設(株)関東支店、鉄建建設(株)北関東支店、東急建設(株)、(株)東京鐵骨橋梁、戸田建設(株)関東支店、西松建設(株)関東支店、日本国土開発(株)東京支店、(株)復建エンジニアリング埼玉事務所、前田建設工業(株)、(株)ユーディーケー、(株)横河ブリッジ